さい帯血移植は 累計9000例突破へ

わが国におけるさい帯血バンクを介 したさい帯血移植は、今年9月末日ま でに累計で8969例が行われました。今 年になっての移植数は、平均で月間 100例を超えるさい帯血移植が行われ ていることから、本誌の編集時点では 正式に確認ができてはいませんが、お そらく10月上旬にはこれまでの累計で 9000例を突破しているものと思われま す。

日本の移植数は世界一

数年前まで、世界中で行われている さい帯血移植の半分はアメリカで実施 され、残る半分のさらに半分が日本で 行われ、もう半分はヨーロッパ全体 で行われている移植数の合計、など と表現されていました。しかしなが ら、最近明らかになった世界的な統計 では、移植先進国のアメリカ合衆国の 移植数を日本が大きくしのぐ移植実績 をあげていることがわかりました。す でに2006年の時点から、日本はさい帯 血移植症例数の実績では、アメリカの 移植数を超えて世界首位の座にありま す。日本は今や、世界のさい帯血移植 をリードする立場となりました。

来年には1万例に

こうした実績をあげることができた 背景のひとつとして、より充実したさ い帯血バンクの運営や技術的な努力が 実を結んだものと言えます。私たちさ い帯血バンク関係者はそれを自負する とともに、より大きな責任を感じてい るところです。もちろん、関係機関や 移植現場の医療スタッフのみなさんの 大きな貢献があったことも大きな要素 であると思います。

わが国のさい帯血移植がこのまま順 調に推移すれば、おそらく来年の夏の 終わりか秋の初め頃には、記念すべき 「累計で1万例突破」という日を迎え られそうです。その際には、記念特別 イベントを開催して、広く市民にさい 帯血移植とさい帯血バンクについての 理解を訴える予定です。

今後への期待

また、先の国会では「移植に用いる 造血幹細胞の適切な提供の推進に関す る法律」(造血幹細胞移植推進法)が 成立(今号6ページの記事参照)して、 これからさい帯血移植を取り巻く環境 が変わることになります。法律的な裏 付けをもった事業として、さい帯血バ ンク事業の背景も変化することが見え てきました。法制化によって、さい帯 血バンクも大きく成長していかなけれ ばなりません。私たちさい帯血バンク 関係者は、さい帯血移植を必要とする 患者さんの救命のため、さらにさい帯 血バンクを大きく育てていくことを肝 に銘じて、努めてまいります。



※複数さい帯血移植数を換算しています。



旧宮城と旧中四国のさい帯血は移管して再公開へ

本年3月でバンク事業を停止し、同時に公開を取り止めていた宮城さい帯血バンクと中国四国さい帯血バンクのさい帯血は、保存されていたさい帯血本体とともにそのデータ類もそれぞれ宮城さい帯血バンクのものは北海道さ

い帯血バンクへ、また中国四国さい帯 血バンクのものは九州さい帯血バンク に無事に移管が終わり、宮城さい帯血 バンクのデータは8月31日に、中国四 国さい帯血バンクのデータは9月4日 に公開を再開しました。 また、宮城さい帯血バンクの6カ所の採取病院は引き続き採取を続け、このさい帯血は関東甲信越さい帯血バンクへと搬送されて、調製保存されることになりました。

iPS細胞の研究をバンク保有のさい帯血で

2012年7月18日に開かれた厚生労働省の造血幹細胞移植委員会において、この度ノーベル医学生理学賞が決まった京都大学の山中伸弥教授が開発した再生医療用人工多能性幹細胞(iPS細胞)の備蓄(バンキング)に向けて、さい帯血バンクに提供保存されたさい帯血のうち、品質的には問題ないが、白血病患者等へ移植ができないものをiPS細胞の原材料として提供してもよいという見解をまとめました。「品質的には問題ない」ということの解釈



ノーベル医学生理学賞 山中伸弥教授(CiRAより許可掲載)

としては、細胞数が少ないため公開に 至らないものや凍結保存期間が10年以 上と長期化したものが想定されます。

iPS細胞は、元来拒絶反応のない患者本人の皮膚から作ることを理想として開発されましたが、個別に作成すると時間、費用もかかります。また、必ずしもすぐにできるとは限りません。山中教授たちは、O型の赤血球のようにHLAがホモの型など比較的多くの患者さんに移植または輸注できるようなタイプのさい帯血から、目的とする細胞や血液を作りたい考えがあります。さい帯血バンクの保存さい帯血は、臨床使用目的のためHLAや感染症等の検査が済んでいます。

現在、さい帯血バンクが保存しているさい帯血は、主に白血病治療のための造血細胞移植や研究に使う前提で提供の同意を得ていますが、iPS細胞の研究に使うことは想定していませんで

した。将来の医療のために使用すると いうことは、過去のさい帯血提供時の 同意内容を超えないと解釈できるとの 意見もありましたが、提供者の同意を 新たに確認するなど実際の判断は各さ い帯血バンクに委ねられことになりま す。さい帯血バンクの判断次第によっ てはさい帯血が別の細胞や組織に姿を 変えて出てくることになります。日本 さい帯血バンクネットワークは、この 件についての判断はバンクに一任する こととし、各さい帯血バンクは今後議 論を重ねていくことになります。多く のさい帯血バンクは提供者の同意が改 めて必要か、または何らかの代替手段 が必要と考えています。造血幹細胞移 植推進法が成立して、公的さい帯血バ ンクは厚労省の認可制となることから も、国民の理解が得られる施策へと進 めていくことが重要です。

元気になりました
 移植患者さんの手記大募集

本誌『さい帯血バンクNOW』では、さい帯血移植を受けられて、元気になった移植患者さんの手記を連載しています。移植から1年程度以上経過して、健康を回復された患者さんは、体験やメッセージを書いてみませんか。原稿は2000字程度にまとめ、写真やイラストなどとともにお送りください。投稿は郵送でもメールでもかまいません。また、いただいた原稿は本誌に掲載するほか、さい帯血バンクの広報活動で使わせていただくことがあります。どうぞふるって手記をお寄せください。

〈送付先〉

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3日本赤十字社西館5階 日本さい帯血バンクネットワーク「さい帯血バンクNOW」編集部宛 network-jimukyoku@j-cord.gr.jp



元気になりました

5年後の桜を

池田明香

今年の春、近所にある大岡川の桜を、 小型船に乗り込み母と一緒に見ていま した。川を上りながら川面にせり出す 桜を楽しむと、船は向きを変え海へと 向かいました。すると、沈みかける夕 陽に代わってネオンに包まれるみなと みらいの夜景が浮かび上がってきます。 「今年も最高の桜が見られた」病気に なって9回目の桜でした。患者さんの 多くがそうであるように、私にとって も次の桜が当面の目標となっていまし

2004年1月、29歳になったばかりの 私は、多発性骨髄腫という血液のがん と診断されました。一人きりでした。 白衣を着たまま、看護師として勤務す る病院の診察室は、私を白衣の天使か ら一気にパジャマ姿の患者へと引きず り込みました。

それから4年の間に8回もの入退院 を繰り返し、仕事復帰と休職を繰り返 していました。そして、診断からちょ うど4年目の2008年1月、事態は急変 しました。その日も出勤していました が、年末から調子が悪く……受診のた めにまずは採血をすると、結果を見た 主治医から電話で呼び出され、そのま ま骨髄検査、車いすで緊急入院となり

ベッドに横になり「あ~少し休める」 と安堵したのを覚えています。それだ け、闘病しながら仕事も続けることに、 身体は限界を訴えていたのです。体調



移植後、初めての外出へ

不良で無理をしているのか、自分自身 に甘えているのか、判断できなくなっ ていたのです。

しかし、事態は最悪のシナリオに向 かって進んでいました。あまりにも急 激に悪くなっていたので、今まで効果 のあった薬剤にも反応しなくなってい たのです。治療はしても、深刻な状況 になるばかりでした。貧血、出血、血 圧低下……たくさんの点滴につながれ、 鼻血が止まらない。それでも、無意識 に食べる事だけは止めようとしません でした。客観的に状況は判断できるも のの、だからといって命を落とすかも しれない、ということは不思議と思い ませんでした。ただただ、必死に日々 を耐えていました。

この状況を打開するためには同種移 植しか選択肢が残されていませんでし た。しかし、移植に持ち込むためには ある程度、病気をコントロールできな ければいけません。そこで、今まで副 作用が理由で中止していた薬を使って みることになりました。当然、副作用 よりも命そのものを救うことが優先さ れました。

さいわい、期待通りの効果が得られ、 病気を少し抑える状態までもっていく ことができ、タイミングよく提供を受 けられるさい帯血を頂くことができま した。とはいえ、非寛解での移植に なったので、あくまでもさい帯血移植 はつなぎの移植でした。さい帯血だけ では1年以内に再発するだろう、その 為、次に骨髄バンクからの同種移植を 考えるというものでした。

まずは無事にさい帯血を移植するこ とができました。福岡のさい帯血バン クから、男の子のさい帯血だと聞きま した。「これから、私は九州男児にな るんだ」と思いました。高校生の時に 好きだった男の子が九州男児でした。 そんなことに縁を感じ「きっとこの子 が私を救ってくれる」と信じました。 移植後の経過は順調でした。無事に生 着し、一般病棟に移りました。しかし、 その直後に再び試練が襲いました。腸 管の急性GVHDです。以降、下血の日々 でした。ベッドの横に置いてもらった ポータブルトイレから離れられません でした。しかし、ここでも「食べない と」という思いで、トイレに座ったま ま食べた事もありました。アスペルギ ルスの感染症で、今夜がヤマ場と両親 に宣告され、死の淵をさまよった時も ありました。長期間の入院で心が折れ て発狂したこともありました。

ところが、この予想外に重症だった GVHDは強力なGVL効果となり、私の 命を救ってくれました。さい帯血移植 後1年経過しても、寛解状態を維持で きたのです。そして、今年の春に4年 目、4歳児になりました。

残念ながら、移植前に使用した薬の 副作用は今も私を薬漬けにし、麻薬さ えも使い続ける日々です。でも、私は また看護の現場に戻りました。免疫力 と体力を上げるためにゴスペルも始め ました。社会復帰のために通い始めた パン作り教室もすっかり趣味の一つに なりました。昨年はきらら(ウサギ) という人生のパートナーに出会い、患 者会のボランティアもミッションの一 つに加わりました。とはいえまだまだ 4歳児、疲れやすいし体力はないし、 基本は韓流歴史ドラマにハマって、休 日はダラダラとドラマを見て過ごす怠 け者です。でも、今年は思い切って住 宅ローンを借り換えました。保険に入 れないので無保険です。それでも、返 せるという自信がついてきたのです。 そして、闘病中は主治医に何が何でも 今の仕事を辞めたらいかんと言われて ましたが、5年10年先を考えて自分の 納得できる仕事ができるようにと目

5年後の桜はどん な風に見られるか ہے



パートナー「きらら」



骨髄バンク・さい帯血バンク

合同全国大会2012 in 仙台を開催

~ともに造血幹細胞を必要とする人のために~

2012年9月15日、仙台市太白区文化センター・楽楽楽ホールにて

主催=公益財団法人骨髄移植推進財団/日本さい帯血バンクネットワーク

後援=厚生労働省、宮城県、仙台市、日本赤十字社、日本造血細胞移植学会、関西骨髄バンク推進協会、血液情報広場つばさ、さい 帯血国際患者支援の会、全国骨髄バンク推進連絡協議会

協力=宮城骨髄バンク登録推進協議会、骨髄バンクを支援するやまがたの会、福島県骨髄バンク推進協議会、宮城さい帯血バンク

今年のさい帯血バンク推進全国大会は、 「ともに造血幹細胞を必要とする人の ために」というキャッチフレーズのも とに、骨髄バンクと合同で東北大震災 の記憶もまだ生々しい仙台市で開かれ ました。初の両バンク合同全国大会の 試みとあって、各方面から大きな期待 が寄せられました。折しも「移植に用 いる造血幹細胞の適切な提供の推進に 関する法律」が成立した直後に仙台で 開かれたということで、時の利・地の 利を得ての集会となりました。

厚労省小宮山洋子大臣も出席

残暑のまだ厳しい仙台市の楽楽楽 ホールには、さい帯血バンク、骨髄バ ンクの関係者や地元のドナーの方々は じめ全国から約350名のみなさんが集 まりました。

第一部の式典では、主催者として骨 髄移植推進財団理事長の斎藤英彦氏 ならびに日本さい帯血バンクネット ワーク会長の加藤俊一氏から、挨拶と

祝辞を述べる小宮山洋子厚労大臣

ともにそれぞれ両バンクの事 業紹介と実績、今後の課題や 抱負が述べられました。とく に両氏とも、9月6日に成立 した「移植に用いる造血幹細 胞の適切な提供の推進に関す る法律」に対して大きな期待 を寄せていたのが印象的でし た。挨拶の後、両バンクに希 望をかけながらも亡くなって

しまった患者さんたちのために鎮魂の 黙祷を会場全員が捧げました。

つづいて来賓の、小宮山洋子・厚生 労働大臣、村井嘉浩・宮城県知事(若 生正博副知事代読)、奥山恵美子・仙 台市長(稲葉信義副市長代読)、西本至・ 日本赤十字社血液事業本部長からご挨 拶をいただき、同じく来賓の正岡徹・ 関西骨髄バンク推進協会理事長、橋本 明子・血液情報広場つばさ理事長、有 田美智世・国際さい帯血患者支援の 会理事長、中野勝博・全国骨髄バンク 推進連絡協議会理事長のご紹介が行わ れました。また、「移植に用いる造血

> 幹細胞の適切な提供の 推進に関する法律」の 成立に尽力した渡辺孝 男・参議院議員(公明 党) からもご挨拶があ りました。

今大会は両バンクが 初めて合同で全国大会 を開くということから 来賓の方々はじめ各方 面からの関心も高く、



厚労省からも小宮山大臣が出席し、両 バンク合同の全国大会が開かれたこと は大変意義のあることや、厚労省とし ても両バンクへの支援に取り組んでい くこと、成立した法律の効果が上がる よう円滑な施行に努めていくことが述 べられました。

|両バンクからの事業報告

今大会では、両バンク合同大会とい うことで、事業報告も他バンクの関係 者にもわかるように、それぞれの事業 内容、組織・運営、事業実績、今後の 課題などが報告されました。

まず骨髄移植推進財団・小寺良尚副 理事長から骨髄バンクの事業報告がな されました。

現在、骨髄バンクに登録しているド ナーは約41.5万人で30代・40代が大半 を占めていること、移植を待つ患者数 は約3.5万人で、ここ10年ほどで40代 以上の患者の比率が増えていることな









さい帯血バンクの震災時対応を報告する渡邊氏

どが報告されました。また、今後の課 題として、ドナー登録者の拡大、提供 する意思を維持させるための働きかけ、 コーディネート期間の短縮、末梢血幹 細胞移植の拡大が上げられました。

つづいてさい帯血バンクネットワー ク・加藤剛二事業運営委員長からは、 次のような事業報告がなされました。

現在、公開さい帯血件数は約2.9万 個、さい帯血移植件数は約8800例に 上っており、非血縁者間の移植件数は 年々増加して骨髄移植件数と肩を並べ るほどになっていること。さい帯血バ ンクの組織変更、移植年次別生存率な どさい帯血移植の現況などが報告され、 最後に今後の課題として、①さい帯血 の品質管理 ②さい帯血の安定供給 ③安定した運営体制 ④先進的医療へ の貢献、が上げられました。

3.11東北大震災時の対応

第二部では「3.11東北大震災時の対 応について」と題して、大震災に遭遇 したとき、それぞれのバンクではどう いう事態が生じていたのかを現場ス タッフであった骨髄移植推進財団・小 瀧美加移植調整部長と、さい帯血バン クネットワーク・渡邊貴彦元事務局員 から生々しい報告がなされました。骨 髄移植が突然の地震災害で不可能と なったことから、代わりにさい帯血を 急遽、出庫することになったものの通 常の連絡手段がとれずスタッフ同士が 携帯電話で連絡を取り合うなど、今後 の緊急事態への対応について多くの教 訓が得られたことなどが語られました。

また、「移植施設の状況と対応」と いうことで、宮城県立がんセンター・ 佐々木治医師と移植患者さんが登壇し て、震災当時の状況を具体的に報告し てくれました。

シンポジウム

今大会のメインイベントであるシン ポジウムは、「ともに造血幹細胞移植 を必要とする人のために」というテー マで行われました。出席者は、虎の門 病院血液内科移植コーディネーター・ 成田円さんを進行役に、パネリストと して、北海道大学教授・豊嶋崇徳、骨 髄移植推進財団ドナーコーディネー ター・石澤郁子、日本さい帯血バンク

ネットワーク事業運営委員・野村正満、 骨髄移植経験者・中川里枝子、さい帯 血移植経験者・加藤徳男の各氏が論議 を進めました。

限られた時間でしたが、大震災など 緊急時に両バンクはどう対応していけ ばよいか、移植を受けた患者としてど のような要望があるのか、造血幹細胞 移植推進法が成立したことで何がどう 変わるのか、両バンクの改善すべきと ころは何か、など今後につながる多く のことが話し合われましたが、さい帯 血バンクと骨髄バンクの一体的な運営 を望む声があがりました。

シンポジウムのあとは、NHK仙台 少年少女合唱隊が登場して、「東北の おもちゃうた」「地球よ」そして最後 にNHK震災復興支援ソングである「花 は咲く」を参加者も唱和して会場がな ごんだところで、合同大会の佐々木利 和実行委員長より閉会の挨拶があり、 無事、大会は終了しました。

大会終了後、場所を仙台ガーデンパ レスに移して両バンク合同の懇親会が 開かれ、全国から集まった両バンク関 係者がお互いに交流を深めることがで きました。



シンポジウムのパネリスト、左から成田氏、野村氏、加藤氏、中川氏、豊嶋氏、 石澤氏



NHK仙台少年少女合唱隊のみなさん



造血幹細胞移植推進法が成立

施行は来年秋からか

野田総理大臣の間責決議可決という 政局がらみで混迷した先の国会では、 ほとんどの審議がストップする状況に あって、参議院から議員立法として提 議された「移植に用いる造血幹細胞の 適切な提供の推進に関する法律(案)」 が8月29日には参議院本会議で、9月 6日には衆議院本会議で全会一致で成 立して、9月12日に公布されました。

根拠法の制定

これまで、さい帯血バンク事業も骨髄バンク事業も、国庫補助金が拠出される事業でありながら、その根拠となるものは事業開始時の厚生省(当時)局長通知一通だけで、根拠法のないままに事業が行われてきました。これまで、法律的な裏付けによる事業にしたいと、日本さい帯血バンクネットワークなどでは要望していましたが、ようやくその想いが実現することになりました。

国の責任

法律の第4条には「国は、……移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の確保に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する」とさい帯血バンク事業と骨髄バンク事業に対する国の責任を明記してあります。これにより、これまでの「民間の行う事業に対して国が補助する」という姿勢とは大きく異

なり、国が責任を持ってさい帯血バン クと骨髄バンク事業を推進することに なります。

枠組みは現行維持

この法律によって、現在行われているさい帯血バンク事業と骨髄バンク事業の大きなシステム的な変更はありません。そういう意味では、現行の制度を法律でオーソライズしたという言い方もできるかもしれません。とはいえ、一部ではありますが、役割分担での変更点もあります。

日赤も普及啓発

第45条には日本赤十字社(法律では「支援機関」としている)の行う業務が掲げられていますが、その4番目に「移植に用いる造血幹細胞の提供に関する普及啓発を行うこと」と書かれています。これまで日赤は、骨髄バンクでドナー確保のために行う重要な普及啓発の役割はありませんでしたが、法制化により普及啓発業務も行うことになります。

研究開発の促進

また、この法律では「研究開発の促進」もうたっています。日進月歩の移植医療技術の世界にあって、移植症例の研究検討は不可欠です。このため、これまでも定められた期間ごとに移植

症例の経緯を報告するように移植医療 機関に求めていましたが、百数十項目 にのぼる報告義務は、移植現場のス タッフにとっては大きな重荷になって いました。報告を怠ると次の移植が滞 るような状況にもなりかねません。

移植報告の迅速化も

第7条には「医療関係者の責務」として「医療機関の開設者及び管理者は……分析のための取組に必要な情報の提供に努めなければならない」とあります。これまでは、移植現場が片手間で行っていた移植報告ですが、報告を怠ると病院長は法律違反となります。必要とあらば、新たにスタッフを雇用してでも報告を提出しなければなりません。移植スタッフはそれだけ移植に専念できるようになりました。

これから省令策定

附則では、公布から1年6カ月以内に施行することになっていますが、これから法律に書かれた基準やルールなどを、厚生労働省令などとして策定する作業が行われることになります。所管の厚生労働省臓器移植対策室では、これからその準備を急ぎ、来年の秋からは施行にもっていきたいとしています。

NISSO



すこやかに、幸せに。 明日への夢、描きたい。

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたいー。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療器具を広くおとどけしているニプロ。

私たち二プロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンク を応援致します。

> ニプロ株式会社 大阪市北区本庄西3丁目9番3号



さい部分です。 うちのスタッフ

⑦中部さい帯血バンク

東海臍帯血バンクから中部さい帯血バンクに

一般社団法人 中部さい帯血バンク は1996年3月に東海骨髄バンクを母体 とし、さい帯血移植を可能にしたいと の熱意によって設立された東海臍帯血 バンクがその基礎になっています。

設立時の名古屋第一赤十字病院、名 古屋市立大学とで始まったさい帯血の 細胞処理・保存から紆余曲折を経て 2007年3月調製保存部が、2010年4月 に事務局が愛知県赤十字血液センター 4階へ移転して一元的な業務が可能に なりました。また今年8月1日に法 人格を取得すると同時に名称を東海臍 帯血バンクから一般社団法人 中部さ い帯血バンクに変更し、中部地方唯一 のバンクとしてさい帯血バンク事業を 更に発展していきたいと考えています。 さて、続いて主なスタッフを紹介さ せていただきます。

- ★小寺良尚(理事長) 相談すると「まかせなさい」と言っ て下さる頼もしい理事長です。
- ★加藤剛二(運営委員長) 「加藤先生に連絡!」が口癖となっ ています。的確な指示でスタッフか ら頼られています。
- ★矢﨑 信(品質管理部長) 採取病院とバンクのパイプ役として 日々奮闘されています。

さてここからは個々のコメントとなります。



★森島泰雄 (調製保存部長)

さい帯血バンクは単なるさい帯血の調製供給基地ではありません。 Medical officerとしてこれまでの移植医、骨髄バンク、病院管理などの経験を生かし、取組んでいます。調製保存部だけでなく事務部の細々とした問題点改善にも力を発揮されています。頭をなでながら「やんなっちゃう」と言った姿が印象的。

★鏡山(調製保存部)

いつの間にか5年目に入ってしまいました。新体制下、新人スタッフと共に新たな気持ちで頑張ります。苗字の読み方は「かがみやま」です。加藤(百)さんと共に調製保存部のまとめ役です。

★加藤(百)(調製保存部)

絆の恵みに生かされ、より大切さを 学び4年半経過…。新生!中部さい 帯血バンクとして多くの初穂が実れ るよう頑張ります。

★稲垣 (調製保存部)

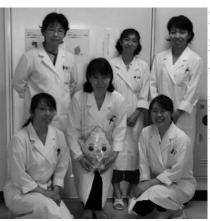
昨年11月よりさい帯血に携わり、 日々勉強中。先輩方のご指導をいた だきより良いさい帯血を提供できる よう頑張ります。

★川本(調製保存部)

昨年11月より入り、子供のおっかけ中の川本です。日々さい帯血に携われる事を誇りに思いながら仕事中です。 息子さんがリオデジャネイロ

オリンピックを目指すスイ マーです。

★加藤(千)(調製保存部) 今年4月から「さい帯血移 植」というすばらしい仕事 にかかわり、やりがいを感 じるとともに責任の重さも 実感しています。加藤(千) さんが仲間に加わった時、 加藤(百)さんは「負けた!」 と不思議なコメントで和ま



してくれました。理由は名前の漢字 です。

★畑佐 (調製保存部)

今年の4月から中部さい帯血バンクで働くようになりました。勉強することが多いのですが、毎日が新鮮で楽しいです。

★大谷(事務部)

さい帯血業務に係わり早6年。事務 所の移転から名称変更、はたまた経 理からお笑いまであらゆることに手 を染め続けて今なお邁進中?!

★水谷(事務部)

移植後100日報告の「生存」 2 文字 で元気をもらいます。微力ながらお 役に立ちたいと常々思っています。

★高見(事務部)

さい帯血バンクに入って一年が経ちました。まだまだ覚える事がありますが、大切なさい帯血提供のために 頑張ります。

★最後に数藤(事務部長)

バンクの仕事に係わり6年。さい帯 血が眠りについている液体窒素タン クが愛らしく見える今日この頃。新 しいコンタクト購入を思案中。

他にもたくさんの方々のお力をお借りして事業展開しています。今後、更に大きくジャンプできるようスタッフ一同、新たな気持ちで努力してまいります。



移植訪問病院

21札幌北楡病院

北海道で拠点病院の強み

社会医療法人北楡会札幌北楡病院は、全室個室(差額ベット代無料)でありながら病床数231床をほこる北海道屈指の病院です。その約半数の病床数を、血液内科と小児思春期科(小児科)で占めており、道内の血液疾患拠点病院といっても過言ではないでしょう。両科ともに、症例数ならびに研修体制が充実していて全国の若手医が研修に来ており、活気がみなぎっています。2011年度の移植数は血液内科53例で、その内さい帯血は9例、小児科は移植16例中さい帯血は8件でした。どちらの科もさい帯血の移植数が増加しているようで、道内各地から患者さんがくる北海道の拠点病院となっています。

他職種のサポートで

血液内科では、18歳から60歳以上の 患者さんでも移植適応のある方を積極 的に良いタイミングで移植が行えるよ うに治療方針を考えているため、結果 としてさい帯血移植が増えていると、 太田秀一血液内科部長は語ります。札 幌北楡病院では、看護部をはじめ、薬 **削部、理学療養技術部、医療連携室** (医療ソーシャルワーカー・移植コー ディネーター) など、患者さんへ直接 介入する職種だけではなく、臨床検査 技術部、臨床工学技術部、放射線技術 部などの迅速な診断や治療の準備を確 実に行っている職種の活躍により、成 り立っています。太田先生は「他職種 それぞれの専門性を発揮して診療をサ ポートしてくれていることが、これだ けたくさんの患者さんを助けることに 繋がっている」と話してくださいまし

遠方から来る患者さんも多い札幌北 楡病院では、移植前の患者さんへの関 わりについて、いろいろと工夫をして いました。移植前の外来中の関わりは、 主に移植コーディネーターが行い、事 前に病棟案内や看護師との顔合わせを しています。また、入院後はなかなか 頻繁に来ることができないご家族の面 会時に合わせて、移植前のオリエン テーションを充実させることで、移植 後の日常生活へのイメージ付けを行っ ています。これから移植という未知の 治療に不安ながらも挑む患者さんやご 家族への温かい配慮を感じました。

18歳までは小児思春期科

札幌北楡病院の小児科は2007年に開設され、今年で5年を迎えました。今年6月から小児思春期科と名称を変更しています。小林良二部長は「入院中に高校受験をしても治療が続くことで、高校に実際行けない患者さんたち

がれしえで称由く現タ名い何うい」更教までフ増をとるとのえしはがえるとのえるはがえる。

固形腫瘍から血液疾患

までを幅広く網羅して全道の患者さんに対応しています。「困っている患者さんがいたら、どんどん診ます。個室でお母さんも一緒に泊まれる利点もあります。院内学校も整備していければと考えているんです」と今後の抱負を聞くことができました。患者さん家族にとっては大変心強い言葉です。

■善意のお気持ちに感謝します■

静岡県 (匿名希望) 1,000,000円 東京都 澤田映子様 20,000円 大阪府 福田博行様 30.000円 静岡県 豊田龍二様 10,000円 埼玉県 大寺信行 様 12,000円 東京都 松本博・智子 様 10,000円 埼玉県 菅波雅人様 5,000円 東京都 松本翔次郎 様 5,000円 千葉県 七屋亨様 2,000円 ナカムラヨウイチ 様 50,000円 ノグチケンイチ 様 50,000円

〈寄付受け付け専用口座〉

●郵便局からの振り込み

00180 - 9 - 57390

●他の金融機関からの振り込み

金融機関名:ゆうちょ銀行金融機関コード:9900

支店番号: 0 1 9 (銀行のATMから当

ネットワークへ寄付金を送金する場合は支店名は『レイイチキュウ』と入力してください。)

預金種目: 当座

口座番号:0057390

口座名義:日本さい帯血バンクネット

ワーク

